

NPO法人みんなのひろばの概要

- 2004年～ 児童福祉・児童心理・教育等に関わるメンバーが中心となり、福島県伊達市に法人を設立
- 2006年～ 本格的にフリースクール事業を開始する
- ・ いじめ等の人間関係のトラブル、学業不振、家庭内不和など様々な理由で不登校となってしまった
 - ・ 東日本大震災以降は、発達障がいのある子どもたちの利用がとて増えた
- 2014年～ 育成対象者の2名をアルバイト雇用
- 2015年～ 当プログラムにより、2名を嘱託職員として雇用し、支援力向上のための育成を図っている

NPO法人みんなのひろばの強み

- その子一人ひとりに合わせた「自立支援」に重点をおいている。（学業だけではなく、コミュニケーションスキルソーシャルスキル・生活支援など、その子に必要なと思われるサポートを積極的に行っている）
- 当法人、理事会、協力者、他機関とスムーズな連携がとれている。
- 行政、市内の障がい児施設や発達障がい親の会などからの信頼も厚い。
- 伊達市教育委員会との連携のもと、当法人フリースクールへの出席は公的な出席扱いとされている。

2015年 育成計画の「目的」

「個人の支援」 2013年以前



「チームの結成」 2014年～



「チーム力の向上」 2015年～

2015年 育成計画内容・実施状況

- ①社内研修 施設見学・実務研修等の事前研修など
外部講師を招き、研修会を行う
 - ②フィールドワーク研修 施設見学と実務研修
 - ③外部研修への参加 児童発達管理責任者研修
心のバリアフリー養成講座
 - ④理事会において報告会の開催
 - ⑤労働条件の整備
- ④を9月に予定しており、ほぼ実施済みである。



2015年 成果と課題

- 児童福祉・障がい児福祉という分野に興味を持ち、積極的に学ぼうとしている。
- 子どもたちへの支援についての質問が多くなり、スタッフ3名での話し合いの場が増えた。

● 「みんなのひろばで

私は何ができるのか？」

様々な刺激により、意欲的であると同時に悩みや不安が増えている。

新しい「みんなのひろば」完成間近



2016年9月～10月に完成予定。現在の事務所の近くに建設中。

みんなの
ひろば 

2016年 継続助成の必要性

「フリースクール事業」を更に発展させ
新規に「放課後等デイサービス事業」を開始する。

「チーム**力**の向上」 2015年～



「チームの**専門性**の向上」 2016年～

2016年 育成の方法

<大泉有民>

放課後等デイサービス事業所において児童発達管理責任者の実務研修を行う

<渋谷由美子>

福祉施設において担当保育士と児童との関わり方を深く学べるような実務研修とする

フィールドワーク研修（施設見学）、外部研修への参加
社内研修、理事会での報告会の開催

理事を含め組織として当人たちをバックアップする

みんなの
ひろば 

2016年 助成希望額の内訳

費目	内訳	助成希望金額
人件費	150,000円×0.8×10カ月分×2名	2,400,000円
研修費	実務研修委託費（100,000円×4施設）	400,000円
	実務研修旅費（10,000円×4回）	40,000円
	施設見学旅費（20,000円×5名）	100,000円
	外部研修参加費・旅費（20,000円×2名）	40,000円
	社内研修講師謝礼・旅費	30,000円
	社内研修資料作成代	70,000円
指導料	指導料（30,000円×12か月）	360,000円
管理費	事務所家賃（25,000円×12か月）	300,000円
	事務所光熱費（5,000円×12か月）	60,000円
	合 計	3,800,000円

みんなの
ひろば 